

# あけど亮太

将来への投資あ

## 市政報告 & 活動レポート29年度初号



### ▼平成29年度3月定例会が閉会しました。

3月24日に川越市議会3月定例会が閉会しました。本定例会では平成29年度の予算審査を行い、採決が本会議最終日に行われました。その結果、賛成多数で可決承認され、平成29年度の川越市は1,109億9千万円の予算をもとに一年間の市政運営がなされることが決定しました。歳入歳出の概要は以下をご覧ください。あけど亮太の予算議案に対する質疑と一般質問については裏面にて詳細をご報告いたします。

### 歳入（収入）について

歳入の根幹をなす市税は、景気の緩やかな回復基調を背景として個人市民税、法人市民税、固定資産税の増等により、総額で前年度より11億8千887万円（2.2%）増の564億8千285万2千円が見込まれます。

#### ◆市税の状況

- ・市民税のうち個人市民税は、雇用・所得環境の改善を背景に前年度より7億4千329万5千円（3.6%）増の211億7千650万3千円の見込み。
- 法人市民税は、景気の緩やかな回復基調を背景に前年度より1億4千649万5千円（3.5%）増の43億6千251万8千円が見込まれます。
- ・固定資産税のうち土地は、地価の下落による減収見込み。家屋は、減失による減収分を上回る新增築による増収分見込み。償却資産は、企業の設備投資が持ち直す傾向にあることを踏まえ増収見込み。その結果、固定資産税全体では前年度より2億7千217万7千円（1.2%）増の225億2千426万5千円が見込まれます。
- ・市たばこ税は、過去の実績本数と減少率を踏まえ、前年度より2千370万5千円（1.1%）減の21億3千922万7千円が見込まれます。
- ・都市計画税のうち土地は、固定資産税と同様に地価の下落による減収見込み。また、家屋は減失による減収分を上回る新增築分による増収分見込み。その結果、都市計画税全体では前年度より3千265万3千円（0.8%）増の41億232万9千円が見込まれます。
- ・「東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律」に基づき、平成26年度から平成35年度までの間は、個人市民税均等割の増収分（年額500円）を防災関連施策に充当するとされており、この引上げによる増収分は8千477万円であり、市立小・中学校、保育所等の耐震化に係る市債の償還財源に活用されます。



### 歳出（支出）について

- ・予算の43%を占める民生費は、過去最大となる480億1千748万7千円を計上。民間保育所建設の補助や保育士への処遇改善を通じて待機児童対策を継続するとともに、低所得者層やひとり親家庭の児童への学習支援やニーズが高い第3子・多胎児産前産後ヘルパーが拡充されます。
- ・教育費は、前年度より1億433万5千円（0.8%）増の125億3千64万7千円を計上。昨年度に引き続き小学校普通教室の空調設備の設置に取り組み、平成30年度の完了目標。中学校も空調設備導入基礎調査を実施し、できるだけ早期の完了を目指しています。
- 経済的支援が必要な家庭への学用品等の就学支援の補助単価を平成29年度から約2倍に引上げり、平成30年度入学予定の新小学1年生と新中学1年生への就学支援は、平成29年度中の早期支給が予定されています。
- ・土木費は、前年度より5億5千253万6千円（6.1%）増の96億1千488万8千円を計上。駅前広場と橋上駅舎の整備が進む新河岸駅周辺、東京オリンピックのゴルフ競技開催予定会場の最寄り駅となる笠幡駅周辺、川越の顔として整備が進む川越駅周辺、東部地域の中心となる南古谷駅周辺の整備が引き続き実施されます。
- 市民要望が多く、身近な道路である生活道路は、前年度よりも1億円を増額して整備を進めるとともに、地域間の連絡や経済活動を支える幹線道路の整備にも継続的に取り組みます。



# 予算質疑で平成29年度施策の運営に対して提言！

川越市はもとより、日本の将来を背負って立つのは今の子供達です。子供達が健全に成長する為の環境を構築する事が我々世代の責任でもあり、子供達が社会に適応する人財として成長して初めて諸先輩方が安心して暮らせるまちづくりが実現します。以上の観点よりあけど亮太は平成29年度予算施策に対して縷々施策提言を行いました。

## ① 子供達の教育環境とインターネットについて

29年度予算では小学校のエアコン設置予算が計上されています。エアコンが設置される事によるメリットのひとつに「授業環境の向上」が挙げられます。授業環境が向上すれば長期休業（夏休み等）の必要性は失われます。そこで、あけど亮太はエアコンの設置に併せ、長期休業の短縮化の検討を提言しました。

※長期休業が短縮されれば保護者の方々の就労体制への影響も軽減できます。

## ② 子育て環境について

川越市の新規事業である「産前産後サポート事業」。この事業は産後うつのは危険性をキャッチした母親に告知する運営計画となっておりました。あけど亮太は危険性が表面化する前にサポートをすべく、出産届けの提出に併せてすべての母親にサポートの告知をすべきと提言。その結果、運営方法が修正されました。

## ③ 歳入（収入）増を目指した行政運営

川越市が持つ数多くの不用備品。これまで処分費を支払っていた備品に対して、備品の買取業者の導入を提言。検討が行われる旨の答弁を頂きました。



※議会一般質問の様子

# 一般質問、常任委員会にて名細地区の課題解消に向け提言！

## ① 下小坂内水被害の解消に向けて

これまで継続的に提言を続けてきた下小坂内水被害の解消に向け、平成28年度予算で現地調査が実施されました。その調査結果を踏まえ、川越市より「ポンプアップ装置の設置」が示されました。本装置が設置されれば内水対策は急速に進み、地域住民の皆様の長年の課題が解消されます。あけど亮太は議場より引き続き内水対策を提言し、一日も早い着工を求めて参ります。

## ② 鶴ヶ島駅前広場の改修に向けて

他の駅と比べ対応が遅れがちな鶴ヶ島駅も時代に沿ったまちづくりが必要です。あけど亮太は鶴ヶ島駅西口の渋滞緩和に向け、進入禁止エリアとなっている広場の撤去を提言しました。

## ③ なぐわし公園への導線確保について

小畔川を挟んで位置するなぐわし公園。利用者の導線を整備することでより多くの方々に利用していただく事ができます。人道橋の設置には様々な課題を抱える為、設置の実現までの代替案として小畔川に「敷石の設置」を求めました。



※霞ヶ関北地域の敷石の現地調査

# 消防組合議会でドローンを活用した救助施策を提言！



被災時は迅速な行動が求められ、一分一秒の差が生命に繋がります。あけど亮太は川越地区消防組合議会において、救助体制の充実化を図るべくドローンの導入を提言いたしました。ドローンの導入が実現すれば、被災時の広域的な状況確認のみならず、隔離されたエリアへの救命グッズの配送などが可能となり、被災者の生存率を大きく向上させる事が期待されます。既に他の自治体では導入に向け検討が進んでいます。あけど亮太は引き続き、川越地区消防組合においてもドローン導入の検討を求めて参ります。

## プロフィール

1981年2月20日（現在36歳） 川越市石原町生まれ、名細育ち  
川越市議会議員二期目 会派：政晴会  
図書室委員会 委員長 川越地区消防組合議会議員  
2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会 委員  
いじめ問題対策特別委員会 委員 議会運営委員会 委員  
産業建設常任委員会 委員 社会教育委員 / 川越市少年補導員  
(公社)川越青年会議所 理事 / (公財)川越市施設管理公社 理事 / JAPAN MENSA 会員

## 発行者

連絡先  
川越市元町1-3-1 6階 政晴会議員控室  
E-mail : kawagoe@akedo.info  
頒布責任者：川越市議会議員 明ヶ戸亮太

■市政報告レポート（29年度初号）